

施設の短期中期のサービス向上への取り組み

1. ルール、手順に基づく業務管理
 - (1) 年度収支目標を達成を目指す
 - ① 各事業の稼働率等月次状況を点検し、
 - ② 事業毎の適正配置な配置に向け業務内容を見直す
 - (2) 業務管理の徹底を図る
 - ① 25年度の業務管理を基盤に、制度に基づく業務を日々確実に遂行する。
 - ② 個々の職員の役割を明確にし、その役割を確実に担う
 - ③ 家族支援システムの定着を図る
 - (3) 職員個々のスキルアップと事業を束ねて館としてのパワーを発揮する
 - ① 法人研修プログラムに計画的に参加する
 - ② 各事業、部署の連携を更に高め、複合施設としての利点を活用する
2. 各事業と施設としてのサービスの向上
 - (1) ひとりひとりのご利用者の「よかった」「安心した」「満足した」を目指す
 - ① 人間の生活の基本である「食べること」「排泄すること」「よく寝ること」を追求し、積極的なケアに取り組む
 - (2) 地域の高齢者が安心、安全に暮らせるために連雀と連携を高める
 - ① 地域ニーズおよび区の第6期計画踏まえ、神田地区における事業の再編成を検討していく
 - ② あんしんセンターとの連携を深め、今後のケアハウスやグループホームでの利用継続の在り方等を検討す
3. リスク管理
 - (1) 安心かつ安全な館を維持する
 - ① 「火災」および自然災害（「地震」「大雨」「大雪」「台風」等）テーマ毎の対応を検討し、個々の職員の役割を明確にする。
 - ② 衛生管理の徹底を図るー感染症対策を徹底する（おこさない、持ち込まない、持ち出さない） 夏冬を中心に食中毒に注意する
4. 建物管理
 - (1) 短中期施設メンテナンス計画を立案する
 - ① 区との協議を踏まえ、今後2～3年のメンテナンスを計画する
 - ② 大型機器の買い替えー入浴機器等の検討

施設の取組

1. 利用者の生活・活動の質のレベルアップに努める
2. 第三者評価等の利用者やサービス自己評価の課題を踏まえ、利用者、家族への対応ー岩本らしさ、ならではのサービスの提供をする
3. 各職員が個々の事業の運営と複合施設としてのメリットを活用した動きができるようにしていく。
4. 区立施設の特性を生かし、地域での世代を超えた交流の場として、近隣子ども施設との交流も深める
5. 27年度開設予定の区高齢者サポートセンターの動きを意識する
6. かんだ連雀とともに神田で事業開始し10年の感謝の意を表現する